籐織出朱子書祉　対幅

【所　在　地】志布志市志布志町志布志２－１－19　大慈寺
【種　　別】県指定有形文化財（書跡）
【指定年月日】昭和 28 年９月７日

籐の細織によって，朱子の書を書き織り出したもので，２幅からなる。ともに縦 240cm，幅 52.5cm で，掛軸風に仕立てられている。文字は大きく肉太の楷書で中国明時代のものと伝えられている。一つには「文章華國」，他方に「詩◆傅家　晦翁」と記されている。

晦翁は，朱子学の開祖として知られる中国南宋の儒学者朱熹（朱子ともいう）である。

明治初年の柏州和尚の文書中にもみられ，また明治 17 年の大慈寺宝物調べの中にも記されているところからみても，古くから同寺の宝物として珍蔵されていたことが知られる。